

地域計画

策定年月日	令和7年3月18日
更新年月日	
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	甘楽町 103845
地域名 (地域内農業集落名)	北部地区 福島地区(小川、福島)、新屋地区(白倉、造石、金井)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	35.8 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	35.8 ha
② 田の面積	35.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.5 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	11.5 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は県営ほ場整備事業で区画整理された水田農業地域である。

土地改良から年月が経過し、用水路・排水路の老朽化が目立つ。

機械の大型化に伴うほ場の大区画化を求める声がある。

一定の農家に集積・集約化が進んでいるため、後継者の確保が当面の課題である。

春から夏にかけて少雨による水不足が発生し、水稻作付に影響が出ている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

米麦を中心とした土地利用型作物を少数の担い手に集積・集約し効率的な営農を目指す。

小麦の二毛作により年間を通してできる作業を捻出する。

需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に則り、ブロックローテーションによる大豆・とうもろこしなど畑作物の栽培により年間を通してできる作業を捻出することで所得を確保する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

米麦を中心とした土地利用型作物を少数の担い手に集積・集約し効率的な営農を目指す。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	51 %	将来の目標とする集積率	83 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

目標地図内については大規模に経営する米麦農家に集積・集約を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組

認定農業者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。

遊休農地を含めた規模拡大を進め、農業収益の向上を図る。

離農や規模縮小する際には、農地中間管理機構を活用し、近隣圃場で耕作する担い手に集積集約する。

(2) 農地中間管理機構の活用方法

農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向を斟酌したなかで段階的に集約化を進める。

(3) 基盤整備事業への取組

担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、必要に応じて農用地の大区画化・汎用化等のため基盤整備を実施する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

町やJAと連携するなかで地域内後継者の育成や地域外からの雇用等、多様な経営体の募集を図るとともに、栽培ノウハウの継承を図る。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

地域内で農作業の効率化を図るため、必要に応じて農業支援サービス事業を利用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input checked="" type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①アライグマ、タヌキ、ハクビシン、カラス類が多く出没しており、食害がみられるほか、イノシシ、ニホンジカの生息域が拡大している。積極的な捕獲等の対策により被害軽減を図るとともに、地域内における捕獲従事者の育成を図る。
- ②有機水稻の試験栽培を実施する。細かな除草作業による減農薬、緑肥のすき込みによる減肥料栽培に取り組む。
- ③水位管理センター、直進アシスト機能搭載トラクタの導入、ドローンによる農薬の空中散布などスマート農業の活用により省力化を図る。
- ④主食用米の輸出の取り組みを拡大する。
- ⑦遊休農地の発生を防ぐため、定期的な除草による保全管理に取り組む。用水路、排水路、農道の機能維持のため共同作業に取り組む。
- ⑨耕畜連携の取組により、WCS用稻の生産とたい肥活用による資源循環を図る。
- ⑩国道254号線及び同バイパス沿線の転用に際しては営農への影響を最小限とするよう配慮する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	A	施設野菜	0.3 ha	ha	施設野菜	0.3 ha	ha	A	
利用者	B	米	1.2 ha	ha	米	1.0 ha	ha	B	
認農	C	米麦	4.7 ha	ha	米麦	8.0 ha	4.0 ha	C	
利用者	D	露地野菜	0.5 ha	ha	露地野菜	0.5 ha	ha	D	
認農	E	米	0.4 ha	ha	米	0.4 ha	ha	E	
認農	F	米	0.2 ha	ha	米	0.2 ha	ha	F	
認農	G	露地野菜	0.1 ha	ha	露地野菜	0.1 ha	ha	G	
認農	H	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	0.6 ha	ha	H	
認農	I	米麦	9.6 ha	ha	米麦	10.4 ha	2.0 ha	I	
認農	J	露地野菜	0.0 ha	ha	露地野菜	1.0 ha	ha	J	
利用者	K	米麦	1.3 ha	ha	米麦	1.3 ha	ha	K	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	11 経営体	18.3 ha	0.0 ha		23.8 ha	6.0 ha			

注1:「属性」欄には、認定農業者は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行なうことが確実であると市町村が判断する
集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は
「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積
を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、
経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め
てください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	I	全般	米麦
2	C	全般	米麦

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

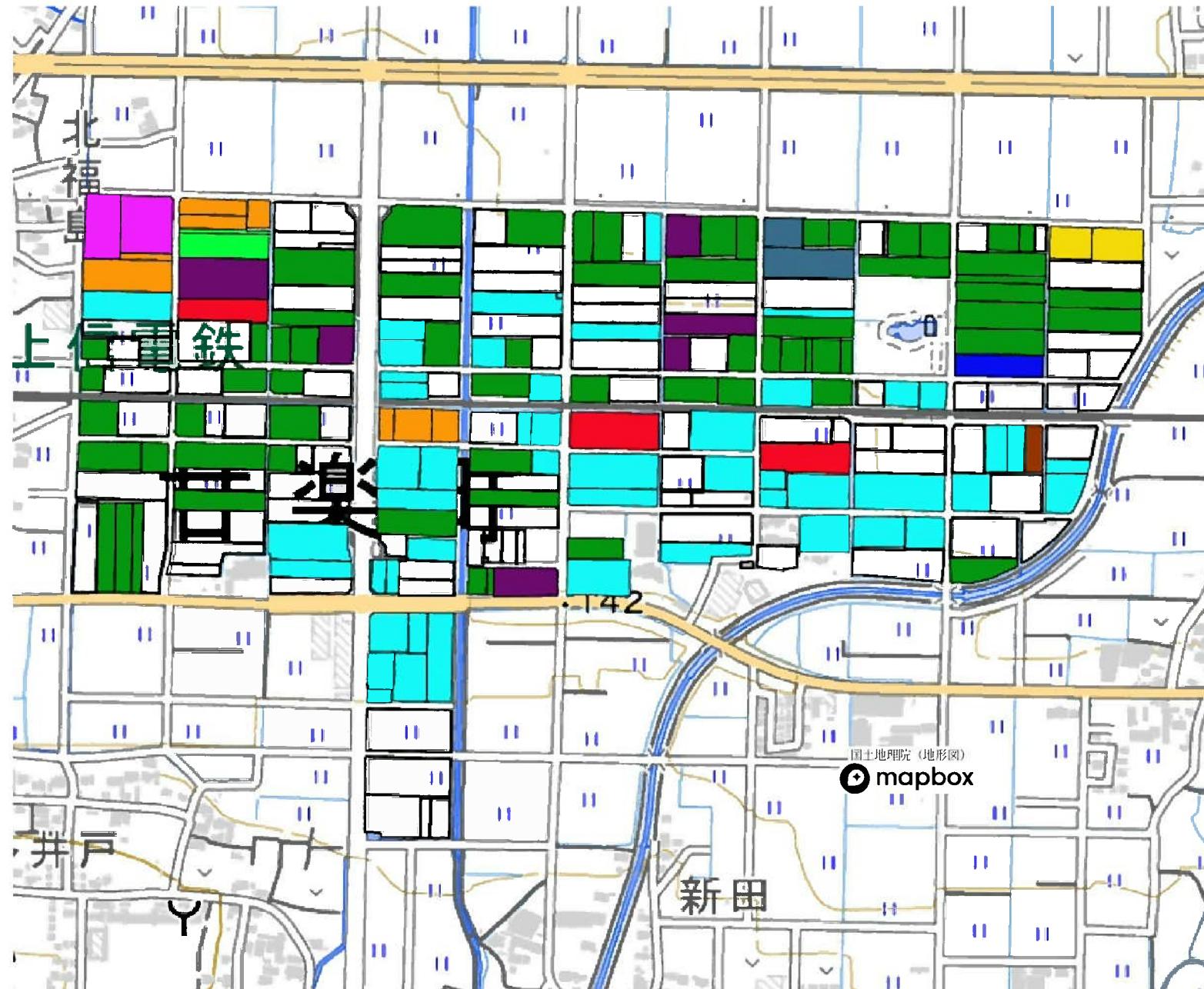
(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

目標地図（北部地区）



目標地図上の表示

A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K